

保護者の皆様へ

# 教育相談だより

備前中学校 教育相談係

いよいよ2学期が始まりました。残暑厳しい毎日が続いておりますが、体調はいかがですか？  
また、お子様の様子はいかがでしょう？

さて、年度始めのPTA総会で紹介しましたように本校にはスクールカウンセラーとスクールサポーターの先生が定期的に来られています。今回、それぞれの先生から保護者の方に自己紹介とメッセージをいただきましたので紹介いたします。

スクールカウンセラー 流王治郎先生より



私はスクールカウンセラーの流王です。備前中学校では、毎月第1、4木曜日と第3日曜日に相談を受けています。子どもは次世代を担う国の宝物ですが、毎日痛ましい子どもの事件が新聞やテレビで報道されています。

世間では子どもの問題は「家庭の問題・しつけの問題・親の問題」で片付ける傾向があります。しかし家庭やしつけ等に問題はなくても、思春期を迎えると「口をきかなくなった。扱いが難しくなった。何を考えているのかわからない。」等々の相談が増えてきます。

子育てには公式がないのです。公式がない理由は、人間の心が複雑にできているからです。心のメカニズムが理解できれば子どもの見方も変わり、子育ても楽しくなるものです。親は子どもの成長や心の変化に伴って接し方を変えないと、子どもの自立心をさまたげ精神的な問題が起きやすくなるのです。

思春期に問題が多発する原因の一つには「自己像」が育ってくることです。たとえば「小学生のころは平気で人前に出て歌をうたい、来客があると喜び、隣近所の人に心地よい挨拶をしていた子どもでも思春期を迎えると人を避け自分を人前にさらけだすことを嫌がり始めます。」これは自己像が育ってきた証拠です。自己が育ってくると、自分の容貌や能力、性格等に関する意識が高まり、自分の欠点を探し、自分はダメな人間だと決めつけるなど、劣等感や人間不信を呈し「自己否定」を行い、心が激しく揺れ動くのが思春期の特徴です。

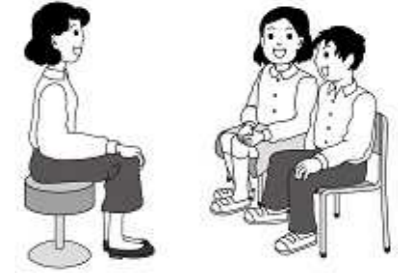
思春期の自己像は不安定であるため大きく揺れ動き、自分はいったいどんな人間なのか。また、親や先生、友達の評価を気にして絶えず自分を問い詰めているのが思春期です。この状況下で心の病が起きることが多いのです。心の揺れを防ぐには、子どもの自己像を理解し共感することが重要なことなのです。共感する有効な手段がカウンセリングです。心理学は「人間の行動学」のことです。心のメカニズムがわかれば、子育ては楽しいものです。些細な問題や気がかりなことなど、遠慮なくご相談ください。

スクールサポーター 坪井淑子先生より



昨年4月から学校教育活動の支援のため配置されました。  
活動内容は主に次のとおりです。

- ・ 家庭、地域と学校の連携の支援
- ・ 生徒の話し相手、悩み相談
- ・ 不登校生徒への支援
- ・ 悩みや課題を抱えている保護者への支援



勤務日は月、水、金曜日です。

生徒の顔は日々違ってきます。少し心配なことは「早寝・早起き・朝ごはん」が出来ていなくて、顔色がさえない生徒が見受けられることです。

今一度、生活の基本を見直して子どもたちの支援をお願いします。

## 相談日

流王先生

坪井先生

- 9月11日(木) 13:00~17:00
- 9月21日(日) 9:00~13:00
- 9月25日(木) 13:00~17:00
- 10月2日(木) 13:00~17:00
- 10月19日(日) 9:00~13:00
- 10月25日(木) 13:00~17:00
- 11月6日(木) 13:00~17:00
- 11月22日(土) 9:00~13:00
- 11月27日(木) 13:00~17:00
- 12月4日(木) 13:00~17:00
- 12月21日(日) 9:00~13:00
- 12月25日(木) 13:00~17:00

- 毎週 月・水・金曜日
- 月曜日・・・9:00~16:00
- 水曜日・・・9:00~13:00
- 金曜日・・・9:00~13:00

都合により相談日が変更になることがあります。相談の申し込みは担任または梶原養護教諭に連絡してください。

TEL・・・64-3365



子どもが思春期を迎えると、子育てに悩むことも多くなると思います。「育て方が悪かったのだろうか・・・」と自分自身を責めてしんどくなることもあるかと思いますが、そんな時、一人で抱え込まないで相談してみてください。何か見えてくるかもしれません。